

006 赤岳

● 9月17日(火) 赤岳(2078m) 天気・晴/曇 (強風)

- ・朝4時半に飛び起きて外の出ると、期待通り 台風一過の快晴！！
- ・食堂では大勢の人が朝食を取っていた。こんなのこのユースホステルでは初めてだ。毎年私一人暗い食堂で一人寂しく朝食を食べていたのに・・・ どもも団体の連中が早く出かけるらしい。5時半に出発し銀泉台へまっしぐら、6時過ぎに到着した。空は快晴、ただ風が強くて寒い。6時半に登り始め少し登ると真っ赤な紅葉が目飛び込んできた。こりゃ今日は期待出来るぞ！



- ・第一お花畑までは天気は良いし紅葉も美しい。夏と違って花が無いので道は殺風景だが周りの景色を撮りながらゆっくりと登った。
- ・第二お花畑を通り奥の平あたりは紅葉も綺麗だが、チングルマの穂やオトギリソウの草紅葉も実に美しい。ただ吹き飛ばされそうに風が強い。



- ・コマクサ平辺りまで来ると一段と風が強くなり岩陰に隠れてしばらく休憩した。台風一過の快晴どころか台風がとどまっている感じた。

・それでも第三雪渓から第四雪渓あたりは雲が切れて陽がさすと見事な紅葉の景色が眼下に広がり、立ち止まっては写真に収めた。さらに足元にはチングルマやエゾノツガザクラ、キバナシャクナゲ、エゾコザクラなど夏を思わせる可憐な花が咲いていて、強風も忘れさせてくれる楽しい登山道だ。



・第四雪渓を過ぎると完全に雲の中に入り視界が無く風はさらに強まり立ってられないほどで、四つん這いになってとにかく山頂を目指して登った。私の他にも数パーティーが同じように苦労して登っている。やっとのことで山頂に着いたが霧の中で何も見えず、岩陰にいないと強風で飛ばされる。山頂の塔にタッチして即下山した。今日は天気が良ければこの赤岳から白雲岳まで行ってみようと思っていたが、とんでもないことになった。



・第三雪渓あたりまでなんとか下ってきたら雲の下に出て視界が開けた。西から南方面は良く晴れていて山並みが日の光に輝いている。天気が悪いのはなんとここだけではないか！ 周りの山は晴れているのにこの山だけ真っ黒な雲に覆われている。

—昨年ニペソツ山で経験した天気と良く似ている。

・第二お花畑を過ぎると風もややおさまってきて視界もあるので、紅葉を楽しみ写真を撮りながら下った。



・ところが第一お花畑まできたらなんと雷が降りだした。それもかなりの強さで、下るに従い雨になりそれも本降りだ。傘をさしながら何とか銀泉台の駐車場に辿り着いたが、ここでは雨が止み雲が切れて太陽が顔を出した。まさに台風状態の天気だ。台風は昨夜のうちに東に抜けたそうだが、ここにはその余波を残して行ったようだ。

・シーズンだけあって、こんな天気なのに銀泉台には車がいっぱいで、観光バスも2台来ている。私はさっさと銀泉台を後にして下り、国道へ出て休憩パークに車を止めた。ここまで来ると風は強いが雲はすっかり無くなり太陽がガンガン照っている。トイレの水道で車を洗い、雨で濡れた衣服や靴を広げて乾かしながら、焼うどんの昼食をとり、ゆっくりと休んだ。今日はこれから当麻へ行って泊まり明日は恵庭へ行く予定。20日の朝、小樽からフェリーで帰るので帰京の準備をしなければならない。

・早雲峡から当麻へは毎年通っている通い慣れた道、4時前に当麻のヘルシーシャトーに着いた。ところがいつもの駐車場は工事中で、屋根付き駐車場も、食事を使っていた東屋も使用できない。でもトイレは使えるし駐車も出来るので、今夜は泊まり慣れたここで寝ることにした。

・ヘルシーシャトーで一年ぶりの温泉に浸かりゆっくり疲れを癒し、6時から飲み始め7時には寝ていた。駐車場には私の車1台のみ。

寂しいと云おうか静かと云おうか。



夜何回かトイレに起きたが、空には満月がこうこうと輝いていた。明日は天気が良いかな？